

笠間が好きなひと。応援したいひと。この指とまれ！

笠間ファン倶楽部通信

2007 秋号

VOL.012



http://www.city.kasama.lg.jp/ss_info/fanclub/index.html



Kasama

観光客が選ぶおすすめショップ

FAN FAN KASAMA 我らは笠間応援団！ ほか

笠間昔話&イベント情報

菊まつり開催100回記念スペシャル！

笠間再発見！

秋の美術館巡り～笠間日動美術館、茨城県陶芸美術館 ほか

メイド・イン・笠間で行こう！

笠間名物・稲荷寿司を食べ歩こう！

笠間稲荷の菊まつり その5～最終回～ 菊人形展テーマの決定

協力／笠間稲荷神社

笠間昔話



菊人形展のテーマは実に様々。これからの展開も楽しみです。



笠間との関わりがあるか

菊人形のテーマの決め方は、30年前あたりから、オムニバス形式のものからNHK大河ドラマから題材を取ることが多くなってきました。この15年間のテーマを年代順に振り返りますと、「風林火山」「功名が辻」「義経」「新撰組」「武蔵」「徳川三代」「忠臣蔵」「徳川慶喜」「毛利元就」「秀吉」「吉宗」などとなっています。しかし、必ずしも、それだけにはこだわっていませんでした。平成5年は「笠間江戸絵巻」、平成6年は「平安歴史絵巻」がテーマ。この年が京都平安遷都1200年ということから、それを記念した企画でした。源氏物語から題材を選び、場面構成しています。物語の中からどの部分を選び出したら良いか、文章では面白く表現されていても、それを下絵（場面作りの元絵）に描くと、その魅力をうまく引き出すことが出来ないということの繰り返しでした。そして、平成14年の菊人形のテーマは「唱歌・童謡の世界」。この年は、野口雨情生誕120年記念の年で、茨城県観光物産課が中心となって、全国へ観光客誘致のためのPR攻勢をかけている時でした。菊人形の場面化にあたっては、子供たちに印象に残った唱歌・童謡のイメージを図画用紙に描いてもらい、それをコンクール形式で作品を募集。その応募作の中から、審査の結果、上位8点を菊人形場面の下絵として、その絵を忠実に菊人形で再現しました（背景も忠実に再現）。ちなみに一番多かった唱歌・童謡は、「赤とんぼ」「おもちゃのチャチャチャ」「春の小川」「背くらべ」「村まつり」「しょうじょう寺の狸ばやし」「雪だるま」「鯉のぼり」であったと思いま

す。これが発端となり、翌年からはテーマを変えて、図画コンクール「わたしの好きな笠間」になり、以来定着し、現在に至っています。

菊人形のテーマが決まると、当社では必ず留意しなければならない項目があります。これまでほとんど時代物を取り上げてきましたが、それが物語なり、ドラマの主人公の生きた時代の中で、「笠間」との関わりがあったかということです。笠間市史を参考に内容を掘り下げていきます。関わっていたことが分かれば、菊人形の場面制作に取り入れていきます。「忠臣蔵」はもとより、平成11年開催の「徳川慶喜とその時代」の時には、笠間藩士「小野友五郎[文化14年(1817年)～明治31年(1898年)]」に焦点をあてました。菊人形では、小野友五郎が航海長として、万延元年(1860年)に勝海舟、福沢諭吉らと咸臨丸に乗ってアメリカに渡っています。往路はかなり北側に進路を取ったため、波が荒く、さすがの総トン数380トン、全長50メートルの咸臨丸でも、航海日数のほとんどが木の葉のように揺れ、難儀したとのこと。その部分を菊人形場面で再現しました。平成16年は「新選組」です。元笠間藩士、相馬主計（そうまかずえ）が、箱館・五稜郭の戦いで新選組隊長・土方歳三が明治2年5月11日に戦死したため、急遽4日後の明治2年5月15日、最後の新選組隊長に任命（新島村教育委員会資料）されたことが、取材で訪れた日野市で分かりました。戦況がかなり追いつめられていた時であったので、わずか数日の隊長でしたが、その後、明治政府から新島に流刑され、長い島生活を余儀なくされました。流刑先では、島の女性と結婚し、島民の相

談役を勤めたと伝えられています。これまでの取材と目的を新島の郷土博物館にお話したところ、館長の計らいで特別に資料や写真をお借りする事が出来ました（会場に展示）。平成17年は「義経」。この時代は笠間とは目立った関係はなく、企画検討している時に、茨城県観光物産協会から一本の電話が入りました。内容は「静御前が今の古河市あたりまで、お供の女性と童僕をつれて、京都から平泉の義経に会いに旅している史実がある」とのことでした。

ある日、静御前が旧総和町付近まで来たとき、東北地方から来た旅人から義経が兄の頼朝によって討たれてしまったことを聞き、悲しみにうちひしがれます。三人は栗橋町まで戻り、その土地のお寺に泊まって思案していましたが、ショックが大きく、それが元で病になり、亡くなったと伝えられています。不憫に思った地元の人たちの協力により、逗留していた寺の住職によって菩提を弔ったとあります。そのお寺が今の栗橋町の愛宕山経蔵院で、御本尊はかつて静御前が京都の庵で信心していた菩薩を京都から移したもので、今も祀られています。毎年9月になると、栗橋町駅前商店街の主催による静御前のパレードが催されています。なお、お墓はこの駅前商店街の一郭にある公園内にあります。

最後にこれまで一般には非公開にかかわらず、貴重な資料や写真等の借用をはじめ、また、快く取材に応じていただいた栗橋町役場経済課商工係の皆さんや、同町愛宕山経蔵院、古河市の光了寺には大変お世話になりました。この誌上を借りてお礼申し上げます。「笠間稲荷の菊まつり」の連載を終わります。長い間ありがとうございました。

今年で笠間の菊まつりは100年目を迎えます！



笠間市で行われている菊まつりは、笠間稲荷神社が明治41年に社会事業の一環として開始して以来、一世紀という永きにわたり市民や来訪者に親しまれてきました。今秋で菊まつりが第100回という節目の年にあたることを契機に、従来の笠間稲荷神社主体の菊まつりから、市民参加型の菊まつりに発展拡大させた「笠間の菊まつり」として開催します。

10月13日(土)より11月25日(日)にかけて、笠間稲荷神社をメイン会場、そして周辺地域をサブ会場・サテライト会場として、多彩な催しが予定されています。また、9月22日(土)から10月12日(金)までをプレ期間とし、茨城ゴールデンゴールズ VS 千葉熱血MAKINGの記念試合や、浅野温子さんによる語り舞台「日本神話への誘い」を開催し、第100回笠間の菊まつりを盛り上げます。4ページに記念事業及び協賛イベントを紹介してあります。ご覧いただき、ぜひ足をお運び下さい。

こちらでは、市民参加の菊まつりへの取り組みや小菊の産地にスポットをあてた内容を紹介していきます。



市民参加型の菊まつりへリニューアル！

100回目を迎える菊まつり。前述のとおり、従来の「笠間稲荷の菊まつり」から「笠間の菊まつり」へリニューアルします。

市内各地で様々な記念事業、協賛イベントが行われますが、市民参加型の菊まつりとしての具体的な試みが、キリンビールの協賛により実現した市内の小学生、中学生、高校生、養護学校による菊の苗栽培です。写真ではまだ小さいですが、秋が深まる頃には色とりどりの花が咲き、菊まつりに華を添えてくれることでしょう。今から楽しみです。



菊まつりに向け、菊の苗を栽培する笠間小学校の皆さん。
写真提供／茨城新聞社

小菊の銘柄産地としての笠間&市民菊花会のチカラ

笠間市の市花は菊。旧友部地区は小菊の銘柄産地として知られ、全国的にも高い生産量を誇ります。生産者の方々は連携をとりつつも、お互いの生産技術を磨き合っています。菊まつりとの関わりも深いのかと思いきや、実は、ほとんど関わりが無いというのが現状のようです。

むしろ菊まつりに関係が深いのは、菊の栽培を商売ではなく、趣味で行っている市民菊花会の皆さんです。友部菊花会会長の内桶忠さんに話を伺ったところ、市民菊花会の全県組織である茨城県菊花連盟会をとおし「菊花品評会」へ協力を行っているそうです。ちなみに内桶さんは現在、150鉢ほどの菊を栽培中。朝の5時からの水まきは欠かせないと言う大の菊好きです。美しい菊たちは、そうやって育まれていくのですね！



秋のイベント情報

笠間アートのまちめぐり

9/22(土)～11/25(日)
市内4カ所の美術館を巡るシールラリー。制覇者には招待券や笠間焼などをプレゼント。
問/アートのまちめぐり実行委員会
tel 0296-70-0011 (茨城県陶芸美術館)

浅野温子語り舞台「日本神話への誘い」

9/29(土) 17:30～開場、18:15～開演、(雨天決行)
場/笠間稲荷神社拝殿前
料/2,000円(全席自由/定員1,000名)
問/笠間稲荷神社 tel 0296-73-0001

茨城県陶芸美術館

北大路魯山人と岡本太郎展～芸術家の出会いと挑戦～
9/22(土)～11/25(日)
美術講演会「太郎一家の動静」
10/7(日) 13:30～、無料、定員/先着150名
講師/川崎市岡本太郎美術館長・村田慶之輔氏
ワークショップ
「笠間で魯山人!～陶器デザインコンクール～」
募集/9/22(土)～10/31(水) 絵付け/11/10(土)
「北大路魯山人と岡本太郎展」ギャラリートーク
10/20(土)、11/4(日) 13:30～
問/tel 0296-70-0011 www.tougeimuseum.ibk.ed.jp

笠間工芸の丘

笠間焼フェア企画展 10/3(水)～10/21(日)
小品展 10/3(水)～11/4(日)
陶 小林征児・犀窯展 10/24(水)～11/4(日)
中村富夫作陶展「風をきく」 11/7(水)～11/18(日)
笠間工芸の丘企画展 11/7(水)～11/18(日)
月下窯展 11/21(水)～12/9(日)
Wood & Felt style3 11/21(水)～12/9(日)
問/tel 0296-70-1313 www.kasama-craft hills.co.jp

匠工房・笠間フェア

10/6(土)～10/8(月・祝) 9:00～16:30
場/茨城県窯業指導所 問/tel 0296-72-0316

第10回 笠間焼フェア

10/6(土)～10/8(月・祝) 10:00～17:00
「多様な個性のあり方」と「笠間焼の現在(いま)」をテーマに新作を展示即売。特別企画展として「もてなしの皿展」を開催。
場/笠間工芸の丘特設会場
問/笠間焼協同組合 tel 0296-73-0058
www.kasamayaki.or.jp

第3回 いなだストーンエキシビジョン

グラフィックデザイナーがデザインし、稲田の石職人が作る稲田みかげ石の作品の展示。
10/6(土)～10/8(月・祝) 9:00～16:00
場/中野組石材工業(株) 石切場
問/稲田石材商工業協同組合 tel 0296-74-2049

笠間日動美術館

「ピカソ、マティス、シャガール…巨匠が彩る物語。」展
10/6(土)～12/16(日)
ギャラリートーク「美術館で物語の世界へ」
展示挿絵を紹介しながら、物語の「読み聞かせ」。
●アンドレ・ドラン「パンタグリユエル」
10/20(土)・21(日) 13:30～14:30
●マルク・シャガール「ダフニスとクロエ」
11/3(土・祝)・4(日) 13:30～14:30
●マルク・シャガール「寓話」
11/23(金・祝)・24(土) 13:30～14:30
特別展示「魯山人の宇宙」
9/22(土)～12/16(日) 9:30～17:00
問/tel 0296-72-2160
www.nichido-garo.co.jp/museum

笠間deお祝い ふあっしょん抄

10/7(日) 11:00～15:00
古い着物をリメイクしたファッションショー。
「結婚式と披露宴」をテーマにしたショーで、実際にカップルが結婚式を挙げます。
場/笠間稲荷神社境内、周辺
問/笠間稲荷門前通り商店街協同組合
tel 0296-72-0139 (柏屋)

おいなりサミット・ひょいパク選手権

笠間名物・稲荷寿司をはじめ、思わず「ひょいっ」とつまんで「パクッ」と食べたい街の名物が出店する食の祭典。
10/13(土)10:00～ 場/笠間稲荷神社周辺駐車場
問/商工観光課 tel 0296-77-1101

ふるさと友部まつり

10/13(土)9:00～16:00、10/14(日)9:00～15:30
三笠優子・成世昌平の歌謡ショーや、東海林のり子講演会などを開催。
場/笠間市友部公民館
問/ふるさと友部まつり実行委員会 tel 0296-77-0523

笠間稲荷神社

かさま落語会
10/6(土)18:30～開演 場/笠間稲荷神社嘉辰殿
菊人形展～大河ドラマ「風林火山」全12景
10/13(土)～11/25(日) 場/笠間稲荷神社特設会場
料/大人(高校生以上)800円、小中生400円
大菊花展(1万鉢の菊花展示)及び市民菊花展
10/13(土)～11/25(日) 場/笠間稲荷神社境内
「特別展 中村不折展」
10/13(土)～11/25(日) 場/笠間稲荷美術館
私の好きな笠間図画コンクール
10/13(土)～11/25(日) 場/笠間稲荷神社境内
キツネの土面展示
10/13(土)～11/25(日) 場/笠間稲荷神社周辺
茨城県天然記念物日本鶏品評会・即売会
10/27(土)・28(日)
問/tel 0296-73-0001 www.kasama.or.jp

小椋 佳 コンサート

10/14(日) 18:00～開演
場/笠間市民体育館
料/1階席 4,500円、2階席 3,500円
問/笠間稲荷神社 tel 0296-73-0001

ミッレミア in 笠間

クラシックカーのラリー。稲荷神社がチェックポイント。
10/16(火) 7:00～8:30
場/笠間稲荷門前通り・国道355号線
問/商工観光課 tel 0296-77-1101

秋の門前通り緑日

秋の門前通りで大道芸・もちつき・野菜市等を開催。
10/20(土)・21(日) 10:00～15:30
場/笠間稲荷門前通り
問/TMOかさま tel 0296-72-0844

かさま新栗まつり

栗に関連したハンドメイドフェアや栗カフェ・栗試食会。
10/20(土) 9:00～ 場/栗の家庭園
問/笠間市農政課 tel 0296-77-1101

假屋崎省吾の世界

～華道家 假屋崎省吾 笠間を魅せる～
竹オブジェデモンストレーションとフラワーデモンストレーション&トークショー。
10/21(日) 場/笠間稲荷神社境内
問/商工観光課 tel 0296-77-1101

あおものプロジェクト2007展

10/26(金)～10/28(日)、11/2(金)～11/4(日)
場/岩間第一分校(笠間市立体験学習館)
問/あおものプロジェクト2007実行委員会
www.boonblue.com/aomono2007

元気さんさんフェスタ

笠間焼体験・ものまね・よさこい・駄菓子玩具など。
10/28(日) 10:00～16:00(元気村・緑化祭と同時開催)
場/笠間芸術の森公園三館広場

第18回 匠のまつり／
いばらきストーンフェスティバル

11/1(木)～11/4(日) 9:00～16:00
場/笠間芸術の森公園 イベント広場
問/(社)笠間観光協会 tel 0296-72-9222

骨董我楽多市

11/1(木)～11/4(日) 9:00～16:00
場/笠間稲荷神社前笹目酒造裏駐車場
問/(社)笠間観光協会 tel 0296-72-9222

大地の宴 かさま秋市

11/3(土・祝)・4(日) 9:00～16:00
場/大町公園通り駐車場(佐白山入口)
問/大地の宴実行委員会 tel 0296-72-0284

神事 流鏝馬(やぶさめ)

11/3(土・祝) 10:00～、14:00～
場/笠間小学校前特設馬場
問/笠間稲荷神社 tel 0296-73-0001

観世流「新能」

11/10(土) 18:00～開演
料/5,000円
場/笠間稲荷神社拝殿前
問/笠間稲荷神社 tel 0296-73-0001

魯山人茶会

～拝啓 魯山人さま お席のご用意が出来ました～
11/17(土)・18(日)10:00～16:00
場/春風萬里荘
料/お抹茶 300円(別途入場料)
※会員特典あり(詳細は会員へ、別途)
問/笠間日動美術館 tel 0296-72-2160

笠間ファン倶楽部会員対象事業
星空満天ハイキング

11/17(土)・18(日) (※詳細は後日)
場/愛宕山周辺及び愛宕天狗の森スカイロッジ
問/商工観光課 tel 0296-77-1101

'07いわま商工まつり

11/18(日) 9:00～15:00(雨天の場合23日)
場/岩間駅南広場及び駅南道路
問/笠間市岩間商工会 tel 0299-45-5711

おいなりサミット・第2回お稲荷さんコンテスト

11/24(土) 13:00～
場/笠間稲荷神社
問/商工観光課 tel 0296-77-1101

笠間観光フォトコンテスト作品募集

応募期限 12/3(月)まで
問/(社)笠間観光協会 tel 0296-72-9222

やきもの通り登り窯まつり

古い登り窯に実際に火を入れた、登り窯の体験。
12/7(金)～12/9(日)
場/やきもの通り・奥田製陶所
問/奥田製陶所 tel 0296-72-0717



笠間再発見!

VOL.012

1 笠間日動美術館
 営/9:30~17:00 (入館は16:30まで)
 休/月曜日 (祝日の場合はその翌日)
 電/0296-72-2160
 場/笠間市笠間978-4
www.nichido-garo.co.jp/museum

2 茨城県陶芸美術館
 営/9:30~17:00 (入館は16:30まで)
 休/月曜日 (祝日の場合はその翌日)
 電/0296-70-0011
 場/笠間市笠間2345 (笠間芸術の森公園内)
www.tougei.museum.ibk.ed.jp



公園内の美術館なので、小さなお子さんでも
 思いっきり遊べる場所がありますよ!



3 春風萬里荘
 営/9:30~17:00 (入館は16:30まで)
 ※12月~2月は土・日・祝日のみ開館。
 休/月曜日 (祝日の場合はその翌日)
 電/0296-72-0958
 場/笠間市下市毛1371-1 (芸術の村)
www.nichido-garo.co.jp/shunpu



4 笠間稲荷美術館
 営/8:00~16:30 (入館は16:00まで)
 休/年中無休 電/0296-73-0001
 場/笠間市笠間1 www.kasama.or.jp

秋の美術館巡り



5 田中嘉三記念館
 営/9:00~17:30 休/不定休
 電/0296-72-3309
 場/笠間市下市毛1377-2 (芸術の村)
www.kogyosha.co.jp/gallery



6 白凜居 (山下りん資料館) ※開館日はホームページ等で要確認
 営/11:00~16:00
 電/0296-72-9222 (笠間観光協会)
 場/笠間市笠間1510
www.010.upp.so-net.ne.jp/yamashita-rin

木村武山に師事した日本画家、田中嘉三の記念館。その生涯を彼は笠間で過ごしました。

白凜居は、笠間生まれの女流画家、山下りんの資料館です。この地に彼女の生家がありました。

アートに囲まれながらお弁当…なんて過ごし方もおすすめ

笠間はいくつかの美術館が点在する、言わずと知れたアートタウン。企画展などの展覧会はもちろん素晴らしいものですが、美術館自体の魅力を楽しもうというのが、今回の企画です。笠間日動美術館では、野外彫刻庭園がおすすめ。アートに囲まれながらお弁当を広げて…なんて使い方が楽しそうです。また、茨城県陶芸美術館は、場所が公園内という絶好のロケーション。思

いっきり遊べる場所がすぐ周りにあるので、小さなお子様連れでも安心です。地元のものにこだわった館内のレストランも好評ですよ。ほかにも北大路魯山人の旧居を移築した春風萬里荘や、稲荷神社の敷地内にある笠間稲荷美術館など、魅力的な施設がいっぱい点在しています。9/22から11/25は「笠間アートのまちめぐり」を開催。詳しくは下記をご覧ください。



美術館まで
 レッツ
 サイクリング

美術館巡りをする際は、風が心地よい自転車がおすすです。笠間駅前観光案内所には、レンタサイクルが置いてあります。観光案内所にもあるので、忘れずにゲットして下さいね。ちなみに笠間ファン倶楽部の入会 (会費無料)、1日料金が半額(800→400円)になります!

笠間アートのまちめぐり

期間 2007/9/22 ▶ 11/25

下記4会場のシールを全て集めて、次回招待券をゲット! さらに抽選で笠間焼も当たる!

特典 ラリー参加者は2番目の会場から入場料を割引! または、ミュージアムショップ等の割引特典があります! シールを全て集めると、各会場の次回展にペアでご招待! さらに抽選で笠間焼が当たるWチャンスも!!

笠間稲荷美術館
 tel 0296-73-0001 10/10~12/25
 10/9 中世六古窯展
 10/13-11/25 陶家・書家 中村不折展
 第100回 笠間の菊まつり
www.kasama.or.jp/

笠間日動美術館
 tel 0296-72-2160 月曜休館
 10/6-12/16 ピカソ、マティス、シャガール…
 巨匠が彩る物語。
 9/22-12/16 魯山人の宇宙
www.nichido-garo.co.jp/museum/

茨城県陶芸美術館
 tel 0296-70-0011 月曜休館
 9/22-11/25 北大路魯山人と岡本太郎展
 10/7 講演会「太郎一本の動物」村田重之輔氏
 9/22-10/31 「笠間で魯山人」陶芸デザイン
 コンクール」講師 川又南彦氏
www.tougei.museum.ibk.ed.jp/

春風萬里荘
 tel 0296-72-0958 月曜休館
 北大路魯山人旧居
 魯山人の食器、花器、書画、物を展示
 11/17-18 イベント 魯山人茶会
 ~評語 魯山人さま
 お席のご用意ができました~
www.nichido-garo.co.jp/shunpu/

スタートはどの会場からでもOK!

参加申し込みは各会場どうぞ。専用台紙をお渡しいたします。各会場の催し物について詳しくは各館にお問合せください。

第100回 笠間の菊まつり協賛 協力:キリンビバレッジ株式会社

Made in KASAMA

メイド・イン・笠間で行こう！

【その10】毎月17日は“稲荷寿司の日”

笠間名物・稲荷寿司を食べ歩こう！

笠間の新しい名物として稲荷寿司が注目されています。稲荷神社前の通りには稲荷寿司を食べられるお店が軒を連ね、食べ歩きするにはもってこい。おいなりサミットなる活動も積極的行われており、これから大いに盛り上がりそうな“稲荷寿司”に、今回は注目してみました。



稲荷寿司の食べ歩きには、おいなりさんほみちが役に立ちます！

稲荷寿司・食べ歩きの必需品！

EVENT・・・Coming soon・・・

おいなりサミットの野望

笠間名物・稲荷寿司のまちづくりを推進する、2007年秋の取り組みの総称が“おいなりサミット”です。将来的には笠間の名物として、稲荷寿司を全国に轟かせようという野望を持っています。このほど稲荷寿司の食べ歩きに大いに役立つ「おいなりさんほみち」が、主催の笠間稲荷寿司推進会議&大学生によって制作されました。掲載店を紹介しておくので、ぜひ食べ歩きを楽しんでください。また、これから秋にかけて、魅力的なイベントがいくつか企画されているので、紹介しておきますね！

おいなりサミット・ひょうりバク選手権

食の祭典として開催されます。稲荷寿司を中心に、豊かな自然とその自然に育まれた笠間の食をPR。また、ひょうりバク（箸を使わないで食べるもの＝食べ歩きのできるもの）をキーワードに、まちの様々な食の名物が販売されます。稲荷寿司トライアスロンなどのユニークなステージイベントも、併せて行われる予定です。

○10月13日（土）10:00～15:00

○会場／笠間稲荷神社周辺駐車場

笠間の菊まつりで、シークレット稲荷寿司が登場？！

笠間の菊まつり開催中に、アッ！と驚く季節の稲荷寿司が登場します。どんな稲荷寿司が登場するかは…ぜひ稲荷寿司店で探してみてください！



おいなりサミット・お稲荷さんコンテスト

昨年に引き続き、全国から公募するアイデア稲荷寿司のコンテストです！審査委員長には著名な料理評論家を予定しております。

○11月24日（土）13:00～15:00

○会場／笠間稲荷神社

問合せ／笠間市商工観光課（tel 0296-77-1101）

01 きむらや



笠間産のコシヒカリを使用するなど、地元産にこだわりました。種類も豊富。

住／笠間市笠間1351
電／0296-72-0268
営／9:00～17:00
休／不定休



「稲荷寿司を笠間の名物にしたい」という信念が強く感じられるお店です。人気は鳥そぼろ、くるみ、山菜など、5種類の稲荷寿司が入ったセットで、価格は500円。これから秋にかけては、栗など旬の食材を使ったメニューが登場する予定なのでお楽しみに！

02 柏屋



創業120年を誇る、手打ちそば一筋の店が作る稲荷寿司。そば稲荷は要予約。

住／笠間市笠間1273
電／0296-72-0139
営／9:30～17:00
休／無休



「稲荷寿司がまちおこしになり、まちがにぎわってくれる事を願っています」と、柏屋のご主人・沼田淳二朗さん。そば稲荷は、きゅうり、みょうが、白胡麻をそばにからめて、油揚げで包みます。ほかに山菜と胡麻の稲荷寿司があります。どちらも1個100円です。

03 あかさか

角煮、カレー、そば、こまくるみなど、ユニークな稲荷寿司いっぱい！

住／笠間市稲田2609-1
電／0296-72-0884
営／11:00～14:00
休／月曜日

04 ライラック

麦飯と米コンニャクで作ったヘルシーなメニュー。夜食にもおすすめです。

住／笠間市石井1110
電／0296-72-4913
営／19:00～翌2:00
休／不定休

05 つたや

自然薯そばを使った、そば稲荷の元祖です。テレビ取材も多い超有名店。

住／笠間市笠間1279
電／0296-72-0055
営／10:00～15:00（土日祝は16:00まで）休／不定休

06 つの国や

笠間産の舞茸と白胡麻が入って、少し大きめです。おつまみにもどうぞ。

住／笠間市笠間1276-1
電／0296-72-0061
営／10:30～16:00
休／不定休

07 ニツ木寿司

くるみの入った稲荷寿司。ちょっと甘いもの、昔ながらのおいしさです。

住／笠間市笠間1343
電／0296-72-0037
営／11:00～18:00
休／火曜日

笠間稲荷寿司推進会議加盟店はこの旗が目印です。只今、加盟店募集中。お申し込みは、笠間市商工観光課（tel 0296-77-1101）まで！

08 松月庵

本格手打ちそばを使っています。にんじん、そばの実、舞茸との相性ばっちり。

住／笠間市笠間1352-2
電／0296-72-0245
営／10:00～18:00
休／木曜日

09 小船寿司

巻き寿司を稲荷で巻いた、棒稲荷がユニーク。ほかにクルミ入り稲荷があります。

住／笠間市笠間1869-9
電／0296-72-7400
営／9:00～19:00
休／火曜日

10 たけ川

舞茸自家栽培のきゅうりとみょうがに加えて、胡麻の入ったそば稲荷です。

住／笠間市笠間1989
電／0296-72-0219
営／11:00～16:00
休／水曜日

11 樽

旬の食材を使った稲荷寿司。秋は栗など、季節ごとのおいしさが楽しめます。

住／笠間市笠間2481-8
電／0296-72-1358
営／11:00～14:30 17:00～21:30（オーダーストップ）休／月曜日

笠間好き集まれ！ ファン！ファン！カサマ

FAN FAN KASAMA

笠間の文化財を親子で訪ねると楽しいし、郷土愛を育てられると思います。

ふるさと案内人／鈴木忠夫（すずき・ただお）さん



間 ファンファンインタビュー

【鈴木忠夫さんプロフィール】

昭和15年に旧八郷町で生まれる。笠間市在住。元学校の教員。その後、教育委員会等に勤務し、退職後、ふるさと案内人になって6年目。趣味は写真、オーディオなど。現在は二人の子供たちも独立して、妻との二人暮らし。妻は仲間たちと「楽農工房」を立ち上げ、8種類の田舎風手作りジャムを作っています！

- 観光客がどうしても正月、春、秋に集中してしまうので、年間通じておもてなしのできる街になれたらいいですね。
- 社会科を教えていた経験を生かして、歴史の事などをお話して、心からおもてなしできるように勉強しています。笠間城の復元もいいし、民俗的な資料館があるといいですね。昔の人の農具・民具は工夫がいっぱいで、おもしろいので子供達に見せてあげたいです。笠間城の様子は、笠間図書館のロビーに展示してあるので、ぜひ見て下さい。
- 笠間は文化財が多いです。それらを親子で訪ねて歩いたら楽しいし、郷土愛を育てられると思います。
- 私は、まちの横丁を歩くのが好きです。「あれ、こんなものがあったのか！」と楽しい発見があります。皆さんも、健康のためにも歩いてみましょう。
- いつもお客さんと同じ目線で受け答えるよう心掛けています。いい街とは何か？と言ったら、そこに住んでいる人達の「心掛け、おもてなしの心」です。いつも相手の気持ちになって優しく接していたら、笠間をもっと好きになってくれると思います。
- これからは、友部、岩間も案内できるよう、勉強していきます。

見

ファンファン
トピックス

【アマチュア陶芸大賞かさま2007】
今年も盛り上がりました！ユニーク＆プロ顔負けの作品がズラリ。来年はあなたも、自分の作品が展示される喜びをぜひ！



展示会場の茨城県陶芸美術館では、応募作品の全てが展示されていました。

声

ファンファン
ボイス

～会員の皆様の声、いただきました～

- 笠間は様々な楽しみ方のできる街だと思います。自然、歴史ある社寺、美術館やギャラリー…古いものと新しいものが、『笠間』という一つの土壌の上で混ざり合い、高め合っている感じがして、訪れるたびに新たな発見の楽しみがあります。レンタサイクルを使いながら、笠間の歴史や文化を、さらに味わいたいと思います。（茨城県・女性）
- 近所の人を誘って、毎年秋は笠間に行きます。行く度に笠間は発見が沢山あって、景色もきれいで、食べ物もおいしく、満足して帰ってきます。温泉があったら、もっとうれいす。（千葉県・女性）
- 訪れるたびに街が整備され、美化

されて好感を持ちます。田園の中に文化の香りが高い街。道路も便利になって嬉しいです。（千葉県・男性）

●笠間の人々の温かさや心が和みました。（茨城県・女性）

●笠間は年に数回訪れています。特に陶炎祭が好きで、夫婦であれやこれやと話しながら品定めをし、買い求めています。笠間焼のどこが好き？と聞かれるとちょっと困ってしましますが、とにかく惹かれてしまうのです。（栃木県・男性）

●笠間の歴史・人・自然をもっと知りたい。（茨城県・女性）

●いろいろな焼物を見て歩くのが好きです。魅力あふれる笠間であり続けて欲しいです。（茨城県・女性）

●笠間の自然やアートが好きです。今後、退職を迎えるにあたり、移住も考えていますので、よろしくお願いします。（福島県・男性）

※本誌に関するご意見、ご感想をお待ちしています。

観光客が選ぶおすすめショップ



新鮮野菜の数々、花木類も充実



JA直売所・みどりの風

住／笠間市平町1248
電／0296-78-3235
営／8:00～18:00
休／正月のみ

国道355号沿いに、間もなくオープン9周年を迎える、JA茨城中央直売所「みどりの風」があります。地元生産者約270名が、その日に採れた野菜や手作りジャム、花木類を持ち寄り、直売しています。出荷日、生産者の名前が明記された「安心して購入出来る新鮮野菜」の数々。小菊の銘柄産地ということもあり、花木類も充実しています。笠間観光の帰路にぜひ！



朝採り野菜&軽食コーナーも



JA直売所・土からのたより

住／笠間市押辺2709-137
電／0299-45-8989
営／9:00～19:00（予定）
休／無休

どっしりと懐かしい古民家風の建物が目を引く、JA茨城中央の直売所「土からのたより」。地元生産農家から毎日新鮮な、季節の朝採り野菜が運ばれて販売されています。工夫を凝らした手作りの惣菜コーナーも充実。いなりまんじゅうや唐揚げ、れんこんコロケ、笠間産コシヒカリの焼おにぎりなど、その場で食べられる軽食コーナーもあります。テイクアウトもOK。



ふくいく

馥郁と菊薫る秋「笠間の菊まつり」 文・塙 東男（笠間稲荷神社・宮司）



益々ご清栄の段、お慶び申し上げます。
さて、笠間稲荷神社も、連綿として多くの人々に篤い尊崇をいただき、御創建1350余年の歴史を重ねて今日に至っております。これも偏に、皆様方の日頃のご厚情の賜物と感謝し、心より厚くお礼申し上げます。

笠間稲荷の菊まつりは、日本で最も古い花の祭典で、明治23年に境内で開催された朝顔市を原点として始められました。参拝する人々の目を楽しませた朝顔市は、翌年より恒例となって開催されるようになりましたが、

明治38年頃になると、日清・日露戦争で疲弊した参拝者の心を和ませるのと、信仰心を養うことを目的として菊の花を展示しましたところ、好評を博しましたので、明治41年（1908年）に農園部を設置して、菊栽培を本格的に始め、菊花を境内に展示しました。こうして社会事業の一環として菊の展示を始めて以来、本年で第100回を数え、日本で最も歴史ある菊まつりになりました。この大きな節目の菊まつり開催にあたり、これまでの長い間、開催出来たことは、これも偏に、皆様方のご協力の賜物とっております。

今回の菊人形展は「風林火山」をとりあげました。最近になって武田信玄にかつて仕えていた軍師・山本勘助（ドラマ・小説などに登場）が、古文書（市川文書）によって実在していたことが判明されたことは、記憶に新しいと思います。菊人形展では、この謎の多い山本勘助の生涯を、ドラマチックに演出いたしました。

このたび、「第100回笠間の菊まつり」開催にあたり、新しい企画やイベント等をたくさん用意しております。9月29日は浅野温子の「日本神話への誘い」、11月10日は「新能」が、いずれも夕刻から拝殿前の特設舞台にて公演されます。また、10月14日は、

笠間市民体育館にて、菊まつりのオープニングを彩る、小椋佳「歌謡の会」の公演が決まっております。その他、市民参加型の菊まつり協賛事業としまして、平成14年から進めてまいりました図画コンクールも定着しており、併せて同時開催されます。

笠間稲荷美術館では特別展といたしまして、～画家・書家「中村不折展」～を菊まつりに併せて開催します。恒例行事としましては、11月3日の神事「流鏝馬（やぶさめ）」・茨城県菊花連盟主催によるハイレベルな早咲き、中咲き、遅咲きの「菊花品評会」等、盛沢山の内容で皆様のお越しをお待ちしております。

日本三大稲荷の一つ、笠間稲荷神社にご参拝かたがた、史跡の街、陶器の街、門前街笠間へ、ご家族、ご友人をお誘いの上、市内をご清遊いただき、心に残る一日をお楽しみいただきたいと思います。



昨年の菊まつりのひとこま。

笠間ファン倶楽部 会員募集中

とにかく、笠間と関わりを持ちたい人を募集致します。
笠間市民の方も加入できます。

笠間ファン倶楽部は、笠間の隠れた情報を発信し、交流人（外の目）が多くの笠間人（内の目）とふれあえる場をつくる新しい仕組みです。笠間人も交流人も、互いに心の豊かさを感じられるような場にしていきたいと思っています。なお、会費は無料ですので、ぜひ皆さんお申し込み下さい。

- 1 笠間を好きな人。
- 2 笠間を応援したい人。
- 3 笠間をふるさとにしたい人。
- 4 笠間人（かさまひと）と交流したい人。
- 5 笠間の歴史、人、自然を知りたい人。

【会員特典】

レンタサイクル1日料金を半額（800→400円）、宿泊料金10%割引（一部旅館のみ）、本誌の発送（年4回）ほか多数！

お申し込みは、住所、氏名、メールアドレス、生年月日、笠間市への応援文等をご記入の上、はがき・FAX・メールのいずれかでお申し込み下さい。

笠間出身者及びゆかりのある人募集

あなたの近くにいる笠間出身者やゆかりのある人を教えてください。ファン倶楽部の活動に役立てていきたいと考えています。
また、笠間で行うイベントなどに積極的に裏方として参加してくれる人も募集中です。

全てのお申し込みは

笠間市 産業経済部 商工観光課

〒309-1792 茨城県笠間市中央三丁目2番1号

TEL 0296-77-1101 FAX 0296-78-5130

E-mail kasamafan@city.kasama.ibaraki.jp

笠間アクセスマップ

電車からのアクセス

東京方面から

上野→（JR常磐線・特急65分）→友部→（JR水戸線10分または無料周遊バス20分）→笠間

上野→（JR常磐線）→岩間→（JR常磐線6分）→友部→笠間

東北方面から

郡山→（JR東北新幹線80分）→小山→（JR水戸線60分）→笠間

→（JR水戸線10分）→友部→（JR常磐線6分）→岩間

車からのアクセス

東京方面から

三郷JCT→（常磐自動車道40分）→岩間IC→友部S&AスマートIC→

友部JCT→（北関東自動車道）→友部IC→

（R355）→笠間



笠間市基本データ 人口：80,723人（2007年8月現在）

面積：240.25平方キロメートル 駅の数：6駅

この機関誌は、再生紙、大豆油インクを使用しています。

